

# カードマジック基礎用語

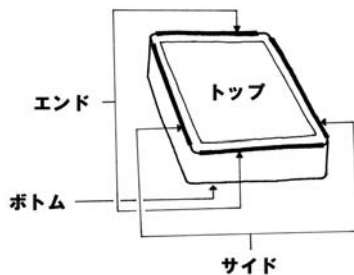
## 各部名称

「カードマジックを覚えたいけど、専門用語が分からないよ…」なんて思っていないですか？最初のうちは、慣れない言葉が出てきて、ややこしく思うかも知れません。ですが、専門用語なしでは説明が難しくなる上、文が二、三倍になるでしょう。専門用語はそれくらい大切なものです。

そんな専門用語に慣れていない方のために、この“カードマジック基礎用語”をお付け致します。ぜひ、参考にして下さい。ここに書いているのは、ごく一部なので、もっと詳しく知りたい方は、カードマジック事典、またはカードマジック入門辞典などを参考して下さい。

- **デッキ**  
一組のトランプの事を指します。少し前までは、一枚でもカードが減っていると「デッキではない…」と言われていましたが、最近では、おおよそ一組のトランプを指します。
- **ポケット**  
数枚またはそれ以上のカードの山を指します。
- **トップ**  
重なっているトランプの、ウラ模様の面の一番上を指します。トランプ全体を表返すとトップは一番下になります。
- **ボトム**  
重なっているトランプの、表の数字の見える面を指します。トップの反対側です。
- **サイド**  
トランプの長い方の端を指します。
- **エンド**  
トランプの短い方の端を指します。

以上が各部名称です。図を参考して下さい。



次は、マジックで使われる用語を紹介しましょう。

持ち方や混ぜ方ひとつにしても、ちゃんと名前が付いています。細かなポイントも書いておきますので、ぜひマスターして下さい。

### ○ **ディーリングポジション**

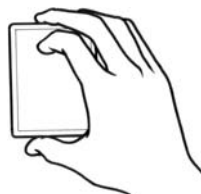
デッキを左手に持ちます。前過ぎず後ろ過ぎないところで持って下さい。人中薬の三指の指先が、デッキの上に少し出る様にして下さい。デッキと手のひらの間に、少し空間が開いた状態にして下さい。



ディーリングポジション

### ○ **ビドルグリップ**

デッキを右手で、上から持って下さい。真上から持つより、斜めから持った方が、正面からカードが見えやすいので、その方がいいと思います。



ビドルグリップ

○ **カット**

デッキを二つに分けて、入れ替えて重ねることを指します。時には三つやそれ以上に分ける事もありますが、基本的には二つに分けて入れ替えることを指します。

○ **ヒンズーシャッフル**

日本人がよくやる混ぜ方です。ただし、右手は上から持った方がいいです。技法で上から持った方が行いやすいものも多く、見た目もこちらの方がキレイです。



ヒンズーシャッフル

オーバーハンドシャッフル

○ **オーバーハンドシャッフル**

西洋人がよくやるシャッフルです。左手の親指の力加減と、右手の握力で、取っていく枚数を調節します。人によっては、左手の親指でデッキの右サイドに引っ掛けてとる人や、右手の人差し指で押し出す人も居ます。これらの方法を、混ぜて使うとやりやすいと思います。

○ **リフルシャッフル**

テーブルを使う方法と、使わない方法があります。テーブルを使う方法から紹介しましょう。デッキをテーブル上で二つに分けてハの字にし、サイドまたはコーナーを弾いてかみ合わせます。コツとしては、しっかり持って、両手の小指側から出ているコーナーをテーブルに押し付けて、パケット全体を曲げて弾いてください。

テーブルを使わない方法ですが、まずデッキを二つに分けて、両手を下図の様に持ちます。このとき、中薬子の三指がしっかり下に入っていることに注意して下さい。二つのパケットを逆のハの字にして弾いてかみ合わせて下さい。

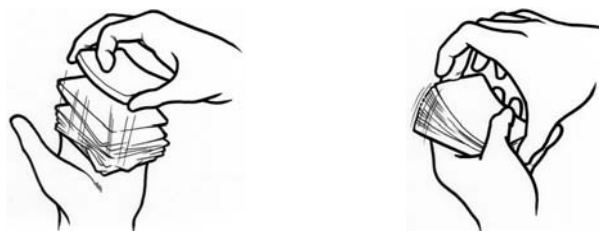


テーブル上で行う場合

空中で行う場合

○ **ドリブル**

デッキを上から持って、少しずつ弾いて落としていくのですが、人によってやり方がバラバラです。テーブルを使わないリフルシャッフルのような持ち方で、やる人もいれば、ビドルグリップのような持ち方でやる人もいます。



ドリブル

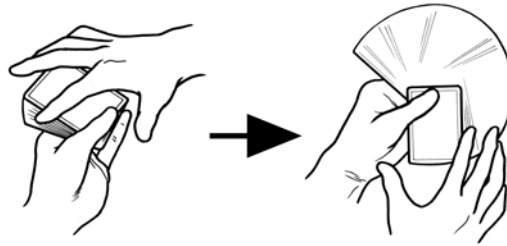
リフル

○ **リフル**

デッキの手前側を持ち、前のエンドを弾いていきます。使い道は、弾いてる間に、お客さんに指を入れてもらって、カードを選んだり、選んでもらったカードを返してもらうときに使ったりします。後は、デッキの表を見せるときに使います。

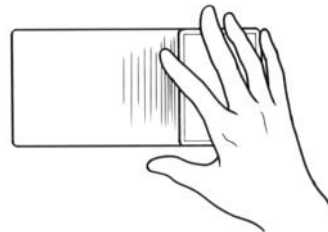
## ○ ファン

フラリッシュと呼ばれる、華麗なカードさばきのひとつです。こういったことができるかどうかで、カードマジック全体の見え方が変わってきます。やり方は、まずデッキの下の方の中央を左手で持ち、右手人差し指で扇形に広げます。右人差し指の力加減に注意して下さい。後は左四指を使って、ファンを閉じて下さい。下ろしたてのデッキだと、滑りすぎてやりにくいと思いますが、慣れてくると出来る様になります。



## ○ スプレッド

これもフラリッシュのひとつです。下にクローズアップ用のマットが敷いてあるとやりやすいし、波のようなターンも出来ます。やり方は、ビドルグリップに持ちますが、人差し指を伸ばして、サイドに当てて下さい。人差し指を軽く押し付けながら、広げてください。広げた後、ボトムのカードを横に裏返してスプレッド全体をひっくり返すとターンが出来ます。慣れてくると、マットの無いテーブルでも出来ます。ただし、ターンは無理です。



解説：紀良京介 挿絵：鎌苅吉良  
著作：フレンチドロップ [www.frenchdrop.com](http://www.frenchdrop.com)  
この解説書の無断転載及びコピーを禁じます。